

台湾の学校と異文化交流

### 白岩小学校がオンライン交流

令和2年度より新型コロナウイルス感染症の影響で、直接姉妹校に訪問するなどして交流していた仙北市の青少年国際交流は、海外渡航が難しくなったためオンラインでの交流に方向転換しました。昨年度は姉妹校だけでなく、市内全中学校、角館高校および大曲支援学校せんぼく校、市内計7校が交流を実施しました。



白岩地区の伝統芸能「白岩ささら」を披露しました。

今年度は市内小学校として初めて、白岩小学校も海外交流を行いました。せっかくの交流ということで授業参観日である7月6日に実施し、白岩小学校5年生7人は保護者が見守る中、台湾の「苗栗県龍昇(ロシエン)小学校」とオンライン交流を行いました。あいさつの「こんにちは」「你好(ニーハオ)」が飛び交う中、45分間におよぶ交流プログラムが幕が閉じました。双方の児童が英語で自己紹介し、自分の学校と故郷について紹介し合いました。

### 大塚山・七面山の里山整備活動

7月6日、(株)伊藤園・NPO法人角館里山再生プロジェクト・仙北市の三者で締結した里山地域貢献パートナー協定の事業の一環として、大曲支援学校せんぼく校の中部の皆さんと一緒に大塚山・七面山の里山整備活動を行いました。昨年引き続き2年目となるこの整備活動。せんぼく校の皆さんは「てきぱき」「協力」「地域のひととお話をする」の三つの目標のもと、関係者の皆さんと協力しながら落ち葉や枝を手早く集めていきます。せんぼく校生徒会副会長の茂木栄菜さん(3年)は「去年より草や落ち葉よりも枝が多かった。きれいになってよかった」と、高橋心美さん(2年)は「お話ししながら楽しくできました。自分たちがやったかいがあった」と感想を話してくれました。



せんぼく校の生徒が道具の使い方を教えてもらったり、楽しく会話したりする様子も見られました。

活動しやすい里山を目指して

【第1部 肉用牛】
【第1類(育成雌)】▶1等賞/第111たかよし号 高橋芳弘(角館)
【第3類(若雌の2)】▶2等賞/ちあき号 高橋将(田沢湖)
【第3部 肥育牛】
▶2等賞2席/金剛号 伊藤則夫(西木) ▶2等賞3席/華安号 伊藤則夫(西木) ▶2等賞4席/保呂羽244 伊藤則夫(西木) ※( )は地区。



1等賞に輝いた高橋芳弘さんの第111たかよし号。

### 小・中学校適正配置に関する意見交換会を開催しました

仙北市教育委員会 学校適正配置準備室(西木庁舎) ☎43-3381

6月27日から7月5日にかけて、6小学校体育館を会場に、保護者をはじめとする市民延べ82人が参加して行われました。小・中学校教育を取り巻く現状と課題を共有したうえで、全市的な観点から将来に望まれる学校の在り方について意見を交わしました。

今後、保護者などを構成員とする「学校適正配置検討委員会」の設置や、アンケート調査(10月予定)を実施し、今年度内に、将来に望まれる学校像を示す「学校適正配置方針」の策定を目指します。参加者からの主な意見は次のとおりです。

#### 意見交換会の進め方関連

- ▶議論のスピードを早めて欲しい。
▶参加しやすいよう、PTAやこども(保育)園保護者会に合わせて開催してはどうか。関心を高めるための周知方法も工夫して欲しい。

#### 学校・学級の規模関連

- ▶小規模校では人間関係が親密になり、異学年と仲良くなれるよさがある。
▶小規模化は各種活動が制限され、部活の選択肢が少なく存続も難しくなる。
▶一定規模で多様な人との関わりを経験し、切磋琢磨し、よい競争心を身につけて欲しい。
▶複式学級は心配な部分が多いと感じる。

#### 学校統合関連

- ▶児童生徒数の減少や校舎の老朽化を踏まえると、大規模改修に多額の費用をかけて存続させていくことに疑問を感じる。交通の利便性のよい場所へ統合校を整備してはどうか。
▶中学校は市内から等距離の場所へ1校に統合してはどうか。
▶将来的に、小中一貫校や義務教育学校を整備してはどうか。
▶子どものための学校という枠を越え、運動施設などは市民も活用できるような統合校を整備してはどうか。
▶統合する場合は、通学の手段や負担も含めて考える必要がある。

#### その他

- ▶少子化対策、移住・定住対策を併せて進める必要がある。
▶学校と地域が一緒になって伝統文化や行事を継承していく体制にして欲しい。
▶情報通信技術を活用したバーチャルな学校も有効ではないか。
▶子どもたち自身にも地域課題として学校の在り方を研究してもらうのもよいのではないか。



意見交換会の様子。

意見交換の詳細はホームページでご覧いただけます



PTAやこども(保育)園保護者会などにおいて、独自に学校適正配置について意見交換などを行う場合に、教育委員会職員の出席を希望する場合は遠慮なくご相談ください。

### 10人目の仙北市観光大使に

### (株)バスクリンの三枚堂正悟 代表取締役社長が就任

この度、新たな仙北市観光大使として、株式会社バスクリンの三枚堂正悟代表取締役社長が就任しました。初代観光大使として2013年に就任した同社の古賀和則代表取締役社長(就任当時)が相談役となったことから、今回、三枚堂代表取締役社長を新たに任命する運びになりました。入浴剤を製造販売する同社とは、2019年3月に、地域社会の発展と健康寿命の延伸を目的に包括連携協定を締結しており、スポーツを通じて健康づくりや温泉・入浴効果の研究などで連携を図っています。

また、同社は観光客の減少や経営環境の変化に直面している温泉地の支援を目的とした「日本の名湯応援プロジェクト」を昨年より実施しており、同社から乳頭温泉組合に寄付金が贈呈されました。



秋田県仙北市 観光大使就任式 「日本の名湯」寄付金贈呈式



# 表紙の写真から

## 機敏な動きで正確な操作を競う 仙北市消防訓練大会

### 当日の成績

- 【小型ポンプ操法の部】**
- 優勝** 第4分団2班(神代地区)
- 準優勝** 第4分団1班(神代地区)
- 第3位** 第4分団3班(神代地区)
- 【個人賞(小型ポンプ)】**
- 指揮者** 藤川悟志(第4分団2班)
- 1番員** 藤川啓吾(第4分団2班)
- 2番員** 伊藤雅人(第4分団2班)
- 3番員** 加藤 学(第4分団1班)

当日は、市内の消防団10分団から団員320人が参集。小型ポンプ操法の部に15チームが出場し、日頃の訓練の成果を競い合いました。朝からの強い日差しと30度を超える気温のなか、団員は一つひとつの動作を正確に素早く行っていました。当日の成績は次のとおりで、上位3チームは7月16日に大仙市で開催した秋田県消防協会大仙北美郷支部訓練大会に出場しました。



小型ポンプ操法で優勝した第4分団2班。

# 栄光・表彰 ~輝くとき

## 警察部外協力者表彰(東北管区警察局長感謝状) 警察医・佐々木英人さんと 警察犬指導手・吉田裕幸さんに感謝状

7月5日、仙北警察署で警察部外協力者表彰(東北管区警察局長感謝状)の伝達式が行われ、秋田県警察医の佐々木英人さん(市立田沢湖病院名誉院長)と秋田県警察嘱託警察犬指導手の吉田裕幸さん(株)田沢モーターズ代表取締役会長)にそれぞれ感謝状が贈呈されました。



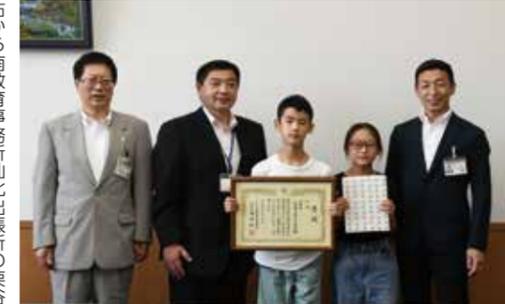
左から仙北警察署の米沢雅也副署長、佐々木英人さん、吉田裕幸さん、同署の太田誠署長。

この表彰は、長年にわたり、奉仕的に警察に協力した警察部外の方や団体を表彰するもので、今回、同管内の受賞者14人のうち、秋田県内では佐々木さんと吉田さんの2人が表彰されました。佐々木さんは、平成18年から秋田県警察医として仙北警察署管内において、これまでの医療経験をともに昼夜を問わず検案業務などにあたってきました。吉田さんは、平成12年から秋田県警察嘱託警察犬指導手として、行方不明者の捜索および事件発生時における初動捜査に警察犬とともに出勤し、警察活動にあたってきました。

受賞にあたり佐々木さんは「警察医として地域医療に携わり貴重な経験をさせていただいた。それにもまして、警察の大変な業務に頭の下がる思い。この表彰は警察の皆さんのご協力の賜物で大変ありがたい」と述べました。また、吉田さんは「感謝状をいただき、恐縮している。警察犬は、時間が経つと薄れてしまうため、捜査の難しさを感じている。警察犬は、秋田県内で13頭いるが、仙北警察署管内では私だけなので、指導手になりた」と話しました。

## 令和3年度全日本学校関係緑化コンクール 神代小学校が入選

この度、神代小学校が「令和3年度全日本学校関係緑化コンクール(学校環境緑化の部)」で入選し、その伝達式が市役所西木庁舎で行われました。次世代を担う青少年の緑化思想の高揚などを目的に行われる同コンクール。同校は、令和元年度にも準特選を果たしています。「花のいのちを育む学園」を校是に花壇活動に取り組む同校は、自分たちで育てたプランターの花を高齢者施設や神代こども園に届けるなど地域との交流を継続して行っています。7月5日、伝達式に訪れた環境委員会委員長の金子蓮叶さん(6年)は「去年の先輩たちの取り組みが表彰されたように今年も頑張って取り組みたい」と話しました。



右から南教育事務所仙北出張所の栗谷川学出張所長、環境委員会副委員長の佐藤心湖さん、同委員長の金子蓮叶さん、神代小学校の公地望校長、須田教育長。

## 第45回全国JOCジュニアオリンピックカップ夏季水泳競技大会・秋田県予選会 菊地心さん(角館小・5年)が 4種目で優勝



7月14日、須田教育長(左)に報告に訪れた菊地心さん(右)。

7月3日、秋田県立総合プール(秋田市)で開催された「第45回全国JOCジュニアオリンピック夏季水泳競技大会・秋田県予選会」で角館小学校の菊地心さんが、10歳以下女子において、出場した50m自由形、同背泳ぎ、同平泳ぎ、4×50mメドレーリレーの4種目で見事優勝、背泳ぎは全国大会出場標準記録を突破しました。菊地さんは、昨年の春から市内のスポーツ少年団で本格的に競泳を始めるとめきめきと上達。今年の春からは大仙市のクラブチームに場所を移し、練習に励んでいます。指導にあたった仙北水泳協会の渡辺友康さんは「菊地さんは、アドバイスをすぐに吸収し、それを実践できる」と話します。菊地さんに全国大会に向けて抱負を聞くと「背泳ぎの自己ベストを出せるように頑張りたい」と話してくれました。東京辰巳国際水泳場(東京都)で開催される第45回全国JOCジュニアオリンピックカップ夏季水泳競技大会は8月22日から始まり、菊地さんは50m背泳ぎに出場する予定です。

お盆期間中の平日は通常通り、外来診療を実施します。祝日の8月11日(休)は病院休診日です。今号では、救急外来と発熱外来についてお知らせします。

市立角館総合病院から  
お知らせ  
☎ 54-2111

	救急外来	発熱外来
時間	《受付時間》平日 17:15～翌朝 8:30 土日祝日 24時間	《相談時間》平日 8:30～12:00・13:00～17:00 《診療時間》平日 9:00～11:00・13:00～15:00
受付方法	・受付時間内に電話で「救急受診」の旨、お伝えください。 ・症状(既往歴含む)をお伺いします。 ・患者情報(診察券番号、氏名、年齢、生年月日など)をお伺いします。 ・来院後、救急外来窓口にお越しください。 ・持ち物(診察券、保険証、受給者証、お薬手帳など)	・受付時間内に電話で「発熱外来受診」の旨、お伝えください。電話で発熱症状をお伺いします。 ・患者情報(診察券番号、氏名、年齢、生年月日など)をお伺いします。 ※電話が集中した場合、折り返しの電話に時間を要します。 ・看護師からご来院時間をお伝えします。 ・発熱外来駐車場に到着後、指定時間に救急外来受付にお越しください。 ・持ち物(診察券、保険証、受給者証、お薬手帳など)
診察の順番など	・患者さんの症状により、順番が前後する場合があります。 ・救急車到着時はお待ちさせる場合があります。	・患者さんの症状により、順番が前後する場合があります。 ・受付数によっては午後診察となる場合があります。 ・救急車到着時はお待ちさせる場合があります。
診療内容など	・一般救急治療(処置)となり、緊急的な検査のみ実施します。 ・後日、専門の診療科で診察を受けるようお願いします。 ・脳神経外科、精神科、小児科、眼科、耳鼻咽喉科、皮膚科などは他院での受診をお願いします。 ・緊急手術などが重なった場合は受診できない場合があります。	・小児は検査後に必ず診察しますので、お早めに電話で受付してください。 ・検査は自家用車内(ドライブスルー方式)または発熱外来(徒歩の方)で実施します。
処方箋 診断書	・処方箋は原則2日分までの緊急処方となります。 ・救急対応のため、診断書などの発行はしていません。 ・診断書などの発行は専門の診療科を受診してください。	・救急外来受付などで処方します。 ・発熱症状に伴う診断書や証明書などの発行はしていません。
その他	・預り金、現金5,000円(保険証なし・県外の方は10,000円)をいただきます。 ・松葉杖貸出時は、別途預り金10,000円をお願いします。 ・交通事故、労災の場合は受付にお申し出ください。	・なるべくお手洗いを済ませてからご来院ください。 ・自家用車待機時はテレビなどの音量にご配慮ください。 ・精算方法は、受診後にお知らせします。
感染対策の お願い	・感染防止対策のため、マスク着用や手指消毒、体温測定のご協力をお願いします。	

病院ホームページはこちら